

## 第2回全体会議（10月15日）の意見・論点に基づいた検討事項（1）

### 論点①：「最終目標・主眼点」の共有

- ・ 主眼は地域コミュニティ。交流をどう進めていくか。（尾木委員）
- ・ 「まちの美化からコミュニティを考える」が今回のサブタイトル。（成田委員）
- ・ 顔の見える関係を築き、コミュニティを強める。地域で顔見知りをつくる。（萩原・松本委員）
- ・ 新しく来られた区民と古くからの区民の交流が非常に大切。美化は結構地域に根付いている。（尾木委員）
- ・ 「みんなで地域を守っている」ということが広められるような交流。（仲亀委員）
- ・ 美化をきっかけに交流が進めばよい。無理やり参加でなく、習慣化し、長く続けられるように。（中森委員）

→「地域コミュニティの交流」について

### 論点②：「ねらい」の絞り込み

- ・ いろいろな観点から考えられる「まちをきれいに」。（園部委員）
- ・ 景観、大気、騒音など総合的な住みやすいまちもテーマになりうる。（反町委員）
- ・ まちがきれいになれば犯罪も減る。防災等にもつながる（松本委員ほか）
- ・ ゴミ問題。ゴミ出しマナー。誰しも関わる身近な、共通の問題として。（仁上委員）
- ・ 快適さ。暮らしやすさ。世代間で暮らしやすいまちを考え、伝えていくこと。持続可能な社会。（成田委員）
- ・ 地域のルールづくり。みんなで環境を考えていく。（成田・仁上委員）

→「まちをきれいに」の捉え方、「ねらい」について

### 論点③：「課題」の絞り込み

- ・ 捨て看板や貼紙業者。小杉周辺の再開発もあり、少しずつきれいになってきた。（松本委員）
- ・ 既存の取組を知らしめる広報が重要。既存の活動をしっかりやること（井上・石川委員）
- ・ ゴみ減量。分別になってからゴミが近所でもすごく少なくなった。（梶川委員）
- ・ ポイ捨て。既存の活動の参加者を増やす。タバコの吸い殻など。（松澤・田中委員）
- ・ 落ち葉や吸い殻、掲示板の老朽化など。L字溝に溜まってしまいうゴミ。（松本委員）
- ・ ゴミ出しマナー。出す人のモラル・マナーの問題。（松本・仁上・松澤委員）
- ・ ビニール傘。大雨の後、駅周辺に散乱している。（成田委員）
- ・ きれいなものを見つけて発信。欠点ばかり見るのではなく、ポジティブに。（山崎委員）

→特に取り上げる、中心に据える“課題”は何か。

### 論点④：「対象（ターゲット）の絞り込み」→「みんなで」の意味。参加主体や担い手など

- ・ 子どもたちのことも考えられる。子どもたちと地域の大人が一緒に取り組んでいく。（萩原・長尾委員）
- ・ 障がい者でも、感じる、やれることがたくさんある。（仲亀委員）
- ・ 区民主体で誰もが参加しやすい形がよい。（井上委員）
- ・ 企業などが、地域みんなでの取組にのっかっていく。（萩原委員）
- ・ 外国籍市民の目線でも。（中森委員）
- ・ 若い世代との企画を考えたい。子育て支援の立場から。（成田委員）
- ・ これから建つマンション、増える人口がある。小杉駅周辺の再開発もまだ道半ば。（尾木委員）
- ・ 近所づきあいがわずらわしい（人）。だからマンションに住んでいる人もいる。（塚本・萩原委員）
- ・ 地域の中で交流がない人。表札が無く、誰が住んでいるかわからない。単身者など。（仁上委員）
- ・ 学校の教育のねらいの一環として、地域愛を育てる、福祉や環境への関心を高める。（田中委員）

→「みんなで」の意味。“担い手”（参加主体）や“役割分担”などについて

## 第2回全体会議（10月15日）の意見・論点に基づいた検討事項（2）

### 論点⑤：取組の方向性・留意点・イメージなど

#### ■活動と併せた交流・コミュニケーションの場の創出

- ・ 9月末の市内統一美化活動で地域児童公園清掃活動後の場が良かった。（園部委員）
- ・ 昭和50年代からの「花いっぱい運動」や「清掃活動」が今でも町会で受け継がれている。地域の中学校と一緒に取り組むイベント、終了後のカレーパーティなどが地域の交流の場。（田中委員）

#### ■取り組んだ実感、具体的な目標の提示

- ・ 区民が取り組んだ実感ができるしくみがよい。（反町委員）
- ・ わかりやすいテーマの提示で、理解者・参加者を少しずつ増やしていく。（塚本委員）
- ・ 活動の目標を提示し、実現させる。集団回収の利益で「ごみを神輿にする」と子ども神輿の資金集めに5年計画で取り組んでいる。以前は綿菓子機購入の実績がある。（松本委員）

#### ■既存の活動の周知・PR・コーディネートなど

- ・ それぞれの活動をまだ互いに知らない。参加できる活動であることが一般に知られていない。素晴らしい取組をもっと知ってもらうことが必要。（萩原・松澤委員）
- ・ 様々な活動があるので、あまり個別の取組を取り上げて区民会議として埋没しないように。既存の活動の組合せや、区として取り組むことによる価値づけなどが必要。（塚本委員）
- ・ 登下校・通勤中に個人でゴミ拾いをしている児童、区民もいる。こうした方々を繋いで、組織化していく。（松原参与）

#### ■新たな区民の参加きっかけづくり

- ・ 町会などの統一美化活動に、マンション住民など新たな方を取り込む。（松本委員）
- ・ 区民会議は既存の活動と新たな人たちを結び付ける役割ができる。（長尾委員）

#### ■体験型イベント・楽しみながら活動できるしくみづくり

- ・ 体験型イベントでPR（反町委員）
- ・ 人を集めるには、子どもたちが楽しめる。何かを食べられるなどの企画が必要。（塚本委員）
- ・ 参加することによってよいこと、楽しいこと、きっかけがあると良い。（萩原委員）

#### ■地域美化に関する現状把握

- ・ 困っていること、うまくいかないことなどをアンケート調査して、課題を把握する。（萩原委員）

→取組の方向性やイメージの共有

### 論点⑥：取組の事例や具体的なアイデア

#### ■環境体験イベント

- ・ バイオ燃料の勉強、電気自動車から電気をとる方法、自転車発電などの体験イベントをしたことがある。（反町委員）

#### ■地域清掃活動の拡大

- ・ NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメントの月1回の清掃活動に子どもを含めて、50人ほど集まるようになったが、マンション全体の住民の数から考えるとまだまだ参加者は少ない。（塚本委員）

#### ■参加を引き出す、楽しむしくみ

- ・ ポイント制やスタンプラリー制を導入して、子どもたちの興味、関心をひく。（反町委員）

#### ■学校教育の場の活用

- ・ 学校の緑化、環境教育に地域の大人がもっと子どもたちと一緒に関わられるようにする。（山崎・成田委員）

#### ■清掃活動と自然体験イベントのコラボ

- ・ 公園掃除しながら自然観察をする。参加する人のメリット。緑化地区の散策など。（山崎委員）

#### ■お庭自慢など

- ・ 田舎の開放的なコミュニティにならって、お庭を開放するようなイベントも良い。（山崎委員）

#### ■ヤギ除草（八王子市・浦安市などで事例）

- ・ ヤギを放って草を食べてもらうことで除草活動をする。子どもたちも喜ぶのではないか。（市古参与）

#### ■日本スポーツゴミ拾い

- ・ 連盟団体があり、ゴミ拾いに競技性を持たせ、お年寄りから子どもまで一緒に取り組めるスポーツとして展開。（松川参与）

→取組のアイデア、知りたい情報や事例について